D01286101A

ESOTERIC

F-07

取扱説明書

目　次

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

安全にお使いいただくために 4
お使いになる前に 7
使用上の注意 7
接　続 8
スピーカーとの接続 10
保護回路について 11
接続 (プリアンプとして使用する場合) 12
接続 (パワーアンプとして使用する場合) 12
リモコンについて 13
各部の名称（本体） 14
ヘッドホンで音楽を聴く 15
各部の名称（リモコン） 16
基本操作 17
設定 21
設定 1 22
設定 2 23
設定 3 24
設定の初期化 25
困ったときは 26
仕様 27
寸法図 28
保証とアフターサービス 29

MEXCEL は三菱電線工業株式会社の登録商標です。

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

⚠ **警告**	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (30 ページ) に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (30 ページ) に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 20cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間，高音量で聴かないで下さい。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

	警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (30 ページ) にご依頼ください。	
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。	

	注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。	
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。	
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**	
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。	
	この機器は約 27.2kg あり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。	
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。	
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。	
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。	
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。	
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。	

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

警告　乾電池に関する警告

禁止	**乾電池は絶対に充電しない。** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

警告　電池に関する警告

強制	**電池を入れるときは、極性表示 (プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き) に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

注意　電池に関する注意

禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない。** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検

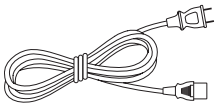
電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (30 ページ) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

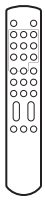
付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (30 ページに記載) にご連絡ください。

電源コード ×1



リモコン
(RC-1301)×1



リモコン用乾電池
(単 4)×2

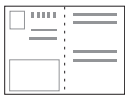


フェルト ×4 枚



取扱説明書 (本書)×1

ご愛用者カード ×1



- 設置面を傷つけたくない場合は、脚の裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

お手入れ

製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れのときは、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。



適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

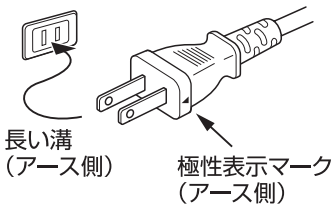
使用上の注意

- 組み合わせて使用するステレオシステムのそばの安定した場所に設置してください。
- 本機の上には物を置かないでください。上に布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かないでください。
- CD、CD-R、カセットテープ、他のオーディオ機器など、熱に弱いものを本機の上に置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、他のアンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 極端に温度が低い場所や、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

電源の極性

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク (▲) は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

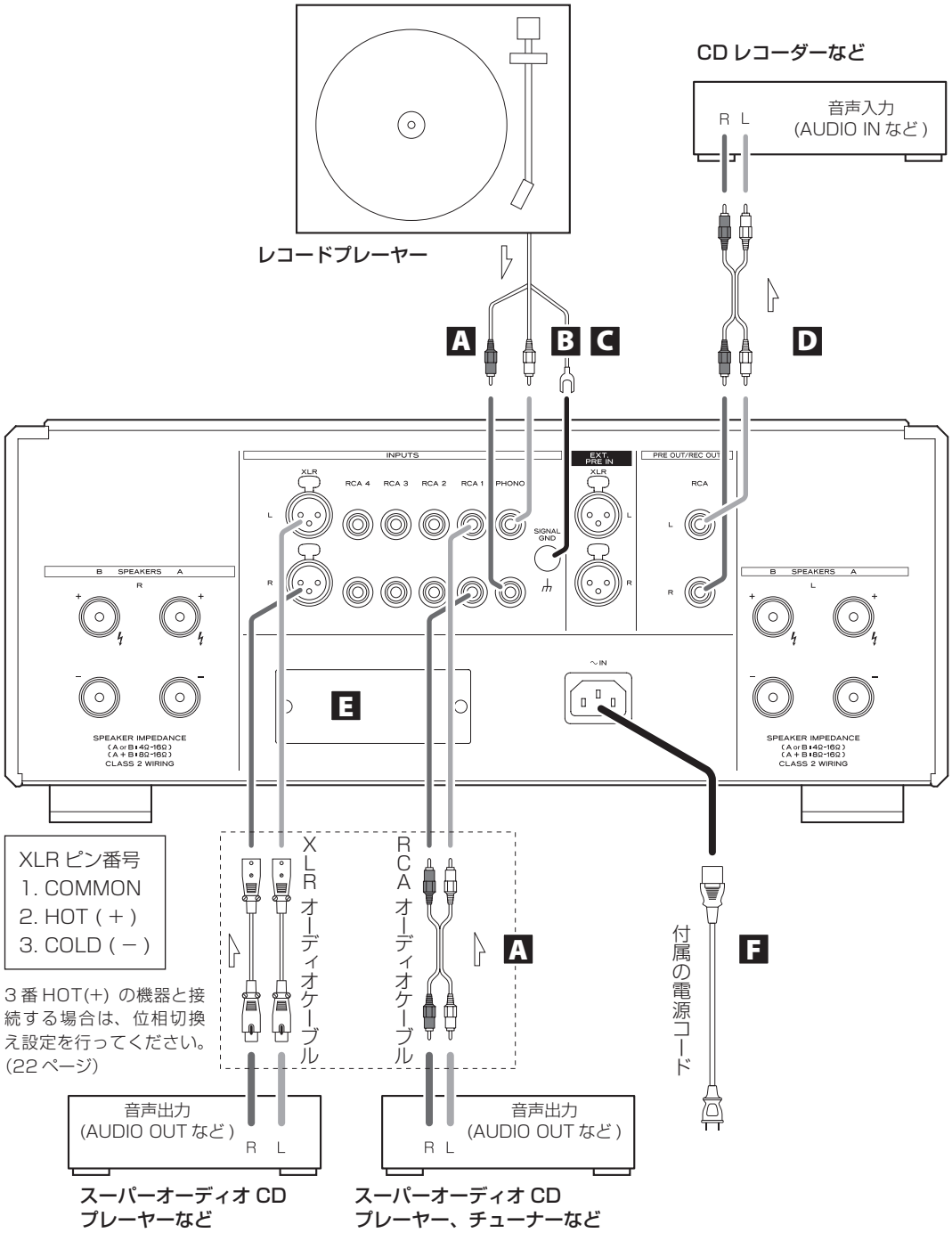
接続時の電源プラグの差し込む向き (極性) によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



接　続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因になりますので、接続ケーブルは電源コードと一緒に束ねないでください。



A アナログ入力端子 (INPUTS)

スーパーオーディオ CD プレーヤー、DVD プレーヤー、カセットデッキ、チューナーなどのアナログ出力端子と接続してください。
本機の R 端子と出力機器の R 端子、本機の L 端子と出力機器の L 端子をそれぞれ接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。
XLR : バランス型 XLR オーディオケーブル
XLR バランスプラグはレバーがロックするまで差し込んでください。外すときにはレバーを押さえて抜いてください。
RCA, PHONO : RCA オーディオケーブル
白のピンプラグを白 (L) 端子に、赤のピンプラグを赤 (R) 端子に接続してください。

- XLR 入力端子は 3 番 HOT(+) に切り換えることもできます。(22 ページ)

レコードプレーヤーの接続
本機はフォノイコライザーを内蔵しています。レコードプレーヤーを接続するときは、PHONO 端子に接続してください。

- レコードプレーヤーのアースは、必ず本機のアース端子 (SIGNAL GND) と接続してください。
- フォノ選択ボタン (PHONO MM/MC) を使用してご使用のカートリッジのタイプを設定してください。(19 ページ)

B アース端子 (SIGNAL GND)

市販のビニール電線でスーパーオーディオ CD プレーヤーやパワーアンプなどとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

C プリアンプ入力端子 (EXT. PRE IN)

本機をパワーアンプとして使用する場合、外部のプリアンプと接続してください。(12 ページ)

D アナログ出力端子 (PRE OUT/REC OUT)

2 チャンネルのアナログ音声を出力します。
アナログ入力端子と接続してください。
CD レコーダーなどの音声入力機器を接続する場合は、用途に応じて、プリアウト出力 (23 ページ) の設定をしてください。

本機をプリアンプとして使用する場合は、12 ページの「接続 (プリアンプとして使用する場合)」をご覧ください。

本機の R 端子と入力機器の R 端子、本機の L 端子と入力機器の L 端子をそれぞれ接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。
RCA : RCA オーディオケーブル
白のピンプラグを白 (L) 端子に、赤のピンプラグを赤 (R) 端子に接続してください。

E オプションボードスロット

別売りのオプションボードを取り付けるスロットです。

F AC インレット (～ IN)

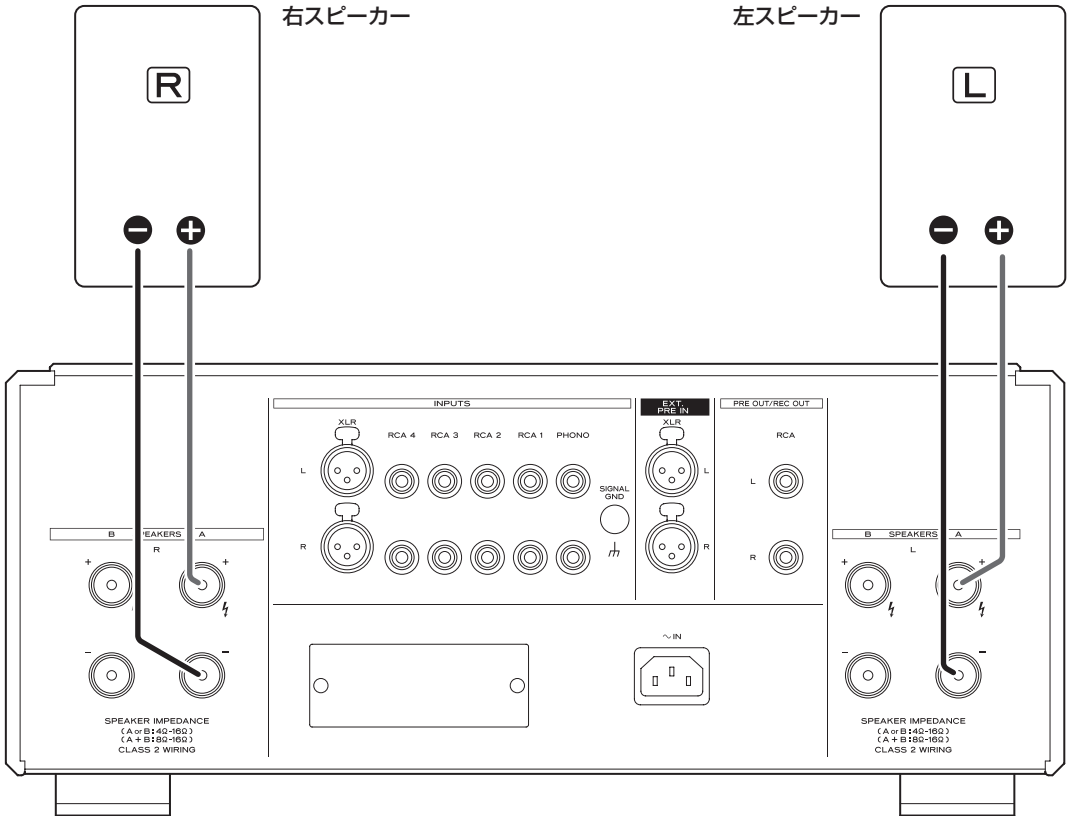
電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の AC インレットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。

エソテリックでは、リファレンスとしてエソテリック **MEXCEL ストレスフリーケーブル**を使用しています。
詳細については下記ウェブサイトをご覧ください。
http://www.esoteric.jp/products/esoteric/accessory/index.html

スピーカーとの接続



スピーカーケーブルについて

- 接続には、市販のスピーカー専用ケーブルをお使いください。
- スピーカーケーブルはできるだけ短いものをご用意ください。ケーブルは長くなるほど抵抗値が増加し、ダンピング特性が劣化します。また、インダクタンスやキャパシタンスも増加し、高域の音質が劣化します。
- 左右のスピーカーケーブルは、同じ長さのものを使用してください。

接続方法

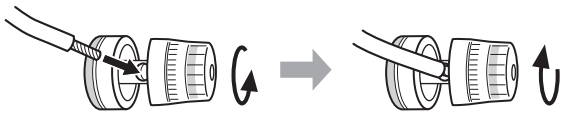
市販のスピーカーケーブルを使って、本機とスピーカーの＋端子同士、－端子同士を接続してください。

- インピーダンス 4Ω 以上のスピーカーをご使用ください。
- 2 組のスピーカーを同時に鳴らす場合は、インピーダンス 8Ω 以上のスピーカーをご使用ください。
- スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のコードや端子と接触すると、ショートすることがあります。
  スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。
- 1 つのスピーカーに 2 台以上のアンプを接続しないでください。
- ノイズ発生の原因になりますので、スピーカーケーブルは電源コードと一緒に束ねないでください。

⚠ スピーカーケーブルの接続は、必ず電源プラグを抜いた状態で行ってください。

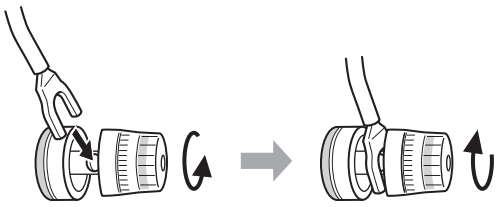
より線の場合

つまみをゆるめ、ターミナルの奥の穴に芯線を差し込み、つまみを締めます。



Y ラグの場合

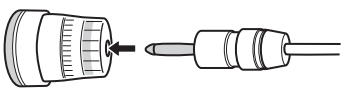
つまみをゆるめ、ターミナルの差し込み口に端末を差し込み、つまみを締めます。



- Y ラグ端子で接続する場合は、内径 8mm 以上のものをお使いください。

バナナプラグの場合

つまみを締めた状態で、端子正面の差し込み口に端末を差し込みます。



- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

保護回路について

本機には、直流保護回路、過電流保護回路、過熱保護回路が内蔵されています。

保護回路が働くと、電源ボタン (POWER) の周囲が点滅し、ディスプレーに以下のエラーを点滅表示します。

DCout ERR!

直流保護回路が動作しています。
一度電源をオフにして、数分待ってから電源をオンにしてください。

OverCURNT!

過電流保護回路が動作しています。
スピーカーケーブルの+とーがショートしている可能性があります。電源を切り、スピーカーとの接続を確認してください。

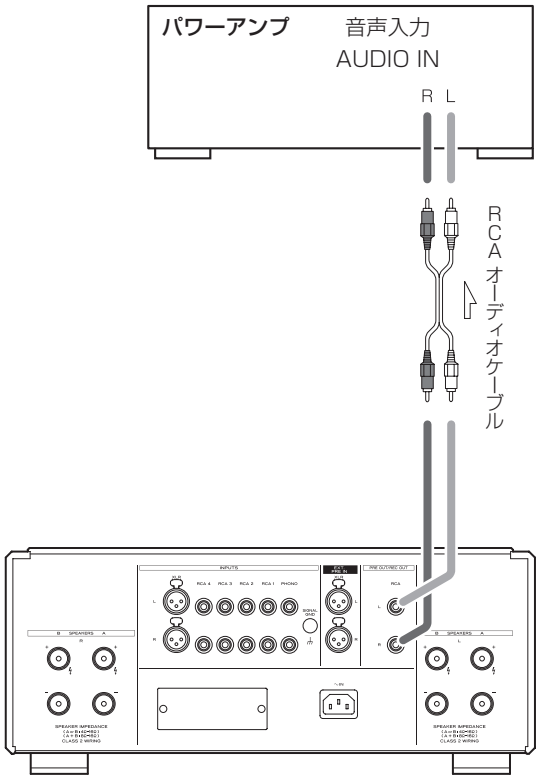
Over TEMP!

過熱保護回路が動作しています。
内部の温度が高くなっています。電源をオフにして温度が下がるまでしばらく待つか、設置条件を見直して風通しをよくしてください。

- 過熱保護回路が動作してから 30 秒経過すると、電源が自動でオフになります。その後、内部の温度が高い状態で、電源ボタンを操作しても電源はオンになりません。

原因を取り除いてもなお点滅が消えない場合は、ティアック修理センター (30 ページに記載) にご連絡ください。

接続 (プリアンプとして使用する場合)



接続

本機のアナログ出力端子 (PRE OUT/REC OUT) とパワーアンプのアナログ入力端子を、市販の RCA ケーブルを使って接続します。

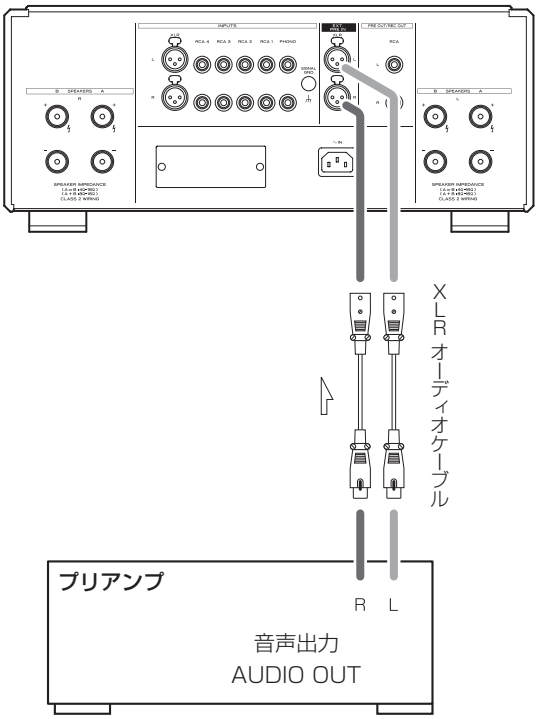
設定

設定 3 動作モードの設定で「PREAMP」に設定してください。(25 ページ)

⚠ 接続時の注意

全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
ノイズ発生の原因になりますので、接続ケーブルは電源コードと一緒に束ねないでください。

接続 (パワーアンプとして使用する場合)



接続

本機のプリアンプ入力端子 (EXT. PRE IN) とプリアンプの音声出力端子を、市販の XLR ケーブルを使って接続します。

設定

設定 3 動作モードの設定で「PWRAMP」に設定してください。(25 ページ)

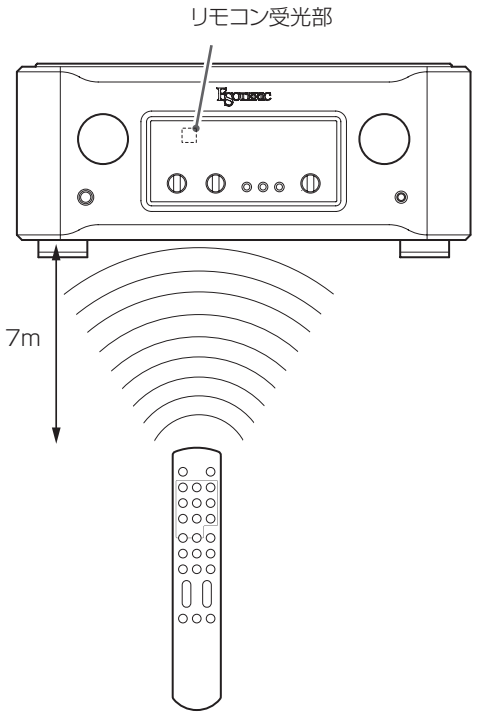
⚠ 接続時の注意

全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
ノイズ発生の原因になりますので、接続ケーブルは電源コードと一緒に束ねないでください。

リモコンについて

使用上の注意

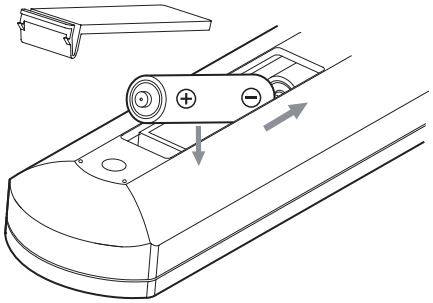
リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7 メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
また、角度により受信しにくい場合もありますので、できるだけ正面から操作してください。



- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますので、ご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池 (単 4 形) 2 本を入れて、フタを閉めてください。



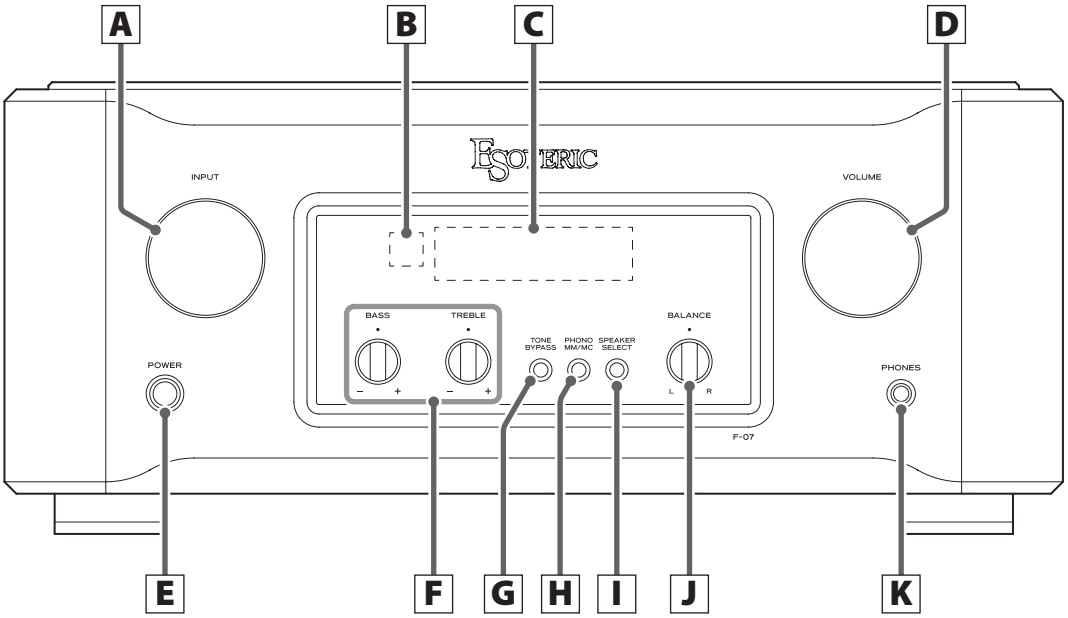
電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

電池についての注意

⚠ 電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
6 ページの注意をよく読んでご使用ください。

各部の名称（本体）



A 入力切換つまみ (INPUT)

入力ソースを切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。

- ディスプレーに表示される端子名は、変更することができます。(22 ページ)

設定画面が表示されているときは、設定値の変更に使用します。
ソース名入力時は、カーソル移動に使用します。

B リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(13 ページ)

C ディスプレー

入力ソース名、音量、設定項目などが表示されます。

D 音量つまみ (VOLUME)

音量を調節します。
音量は右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

- スルーアウト出力に設定した入力ソースは、音量つまみ (VOLUME) が機能しません。(24 ページ)

突然大きな音が出ると、聴力障害などの原因になることがあります。音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。

E 電源ボタン (POWER)

電源のオンとオフを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く点灯します。

- 本機を使わないときは、電源をオフにしてください。
- スピーカーを保護するために、電源をオンまたはオフにするときは「基本操作」(17 ～ 18 ページ) にある手順に従ってください。

ヘッドホンで音楽を聴く

F トーンコントロール

各音域のレベルを調整します。
＋側に回すとレベルが上がり、－側に回すとレベルが下がります。
中央の「●」マーク似合わせるとフラットな特性になります。

BASS
　低音域を調節します。

TREBLE
　高音域を調節します。

- トーンバイパスがオフのときのみ調節できます。
- トーンバイパスがオフのときは、ディスプレー上部に「TONE」が表示されます。

G トーンバイパスボタン (TONE BYPASS)

トーンバイパスのオン、オフを切り換えます。
3 秒以上押すと設定画面が表示されます。

H フォノ選択ボタン (PHONO MM/MC)

PHONO 端子に接続するプレーヤーのカートリッジタイプ (MM/MC) を選択します。(19 ページ)

I スピーカー選択ボタン (SPEAKER SELECT)

使用するスピーカー端子を選択します。
設定画面が表示されているときに押すと、設定を終了します。

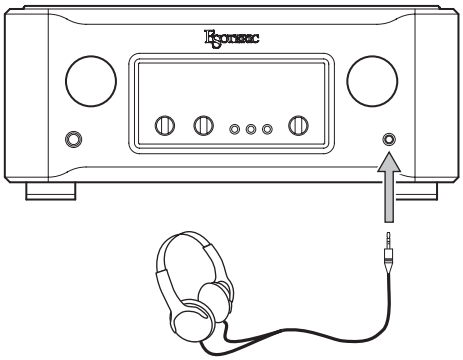
J バランスつまみ (BALANCE)

左右の音量バランスを調整します。

K ヘッドホン端子（PHONES）

6.3mm ステレオ標準プラグのヘッドホンが接続できます。

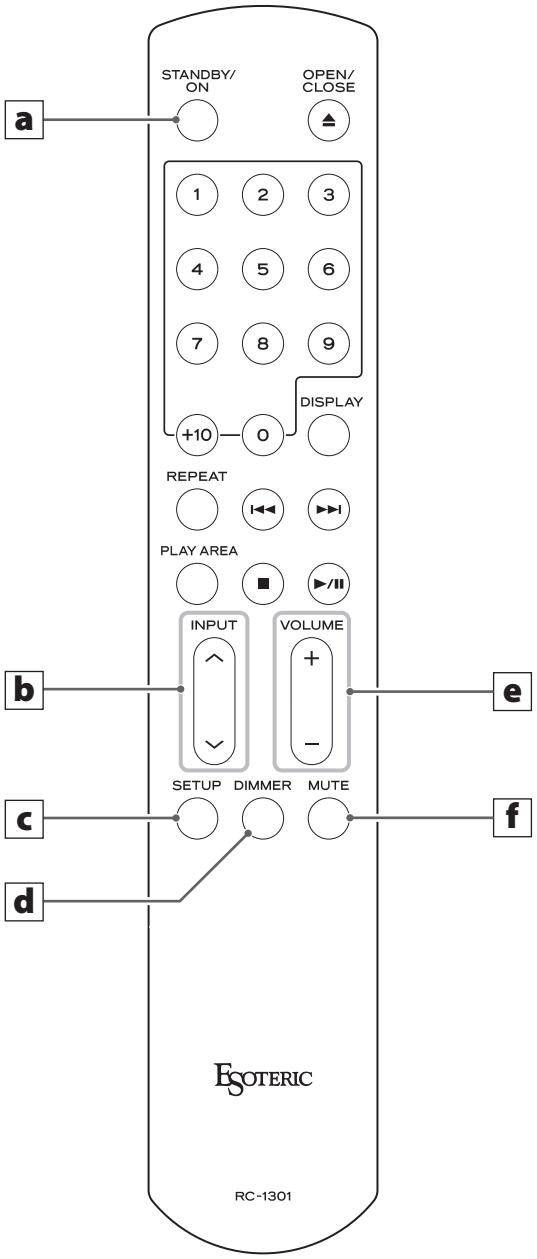
- ヘッドホンプラグを挿入するとスピーカーの音は止まります。



ヘッドホンプラグ（6.3mm ステレオ標準タイプ）をヘッドホン端子 (PHONES) に差し込み、適切な音量に調節してください。

⚠ ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

各部の名称（リモコン）



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

- 記号の指示のないボタンは本機では使用しません。
- このリモコンで他のエソテリック製品も操作することができます。

a 設定ボタン (STANDBY/ON)

設定画面で一部の設定を決定したり、端子名を入力するときに使用します。

- 本機の電源オン / オフはできません。

b 入力切換ボタン (INPUT ∧/∨)

入力を切り換えます。再生する機器が接続されている端子を選んでください。

設定画面が表示されているときは、設定値の変更に使用します。
ソース名入力時は、カーソル移動に使用します。

c セットアップボタン (SETUP)

「設定 1」、「設定 2」に使います。(21 ページ)

d ディマーボタン (DIMMER)

ディスプレーとインジケーターの明るさを調節します。(20 ページ)

e 音量ボタン (VOLUME ＋ / －)

音量を調節します。＋を押すと大きくなり、－を押すと小さくなります。

- スルーアウト出力に設定した入力ソースは、音量ボタン (VOLUME ＋ / －) が機能しません。(24 ページ)

f ミュートボタン (MUTE)

ミュートボタンを押すと、一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。(18 ページ)

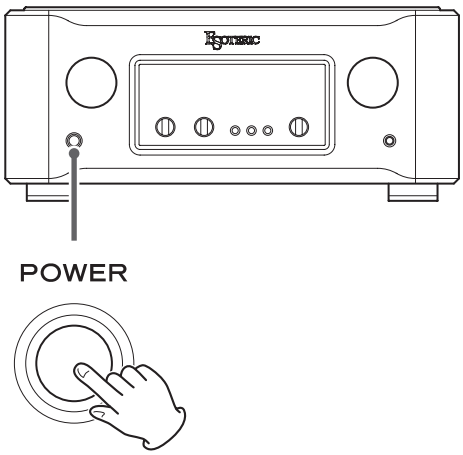
- ミュート時は、画面に「MUTE」が点滅表示します。

基本操作

電源をオンにする

1 本機に接続されているソース側の機器の電源をオンにする。

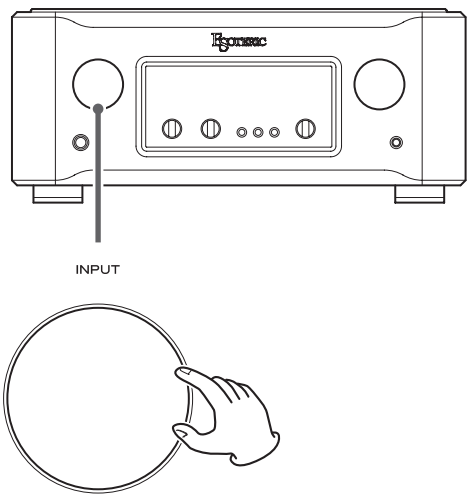
2 電源ボタン (POWER) を押して電源をオンにする。



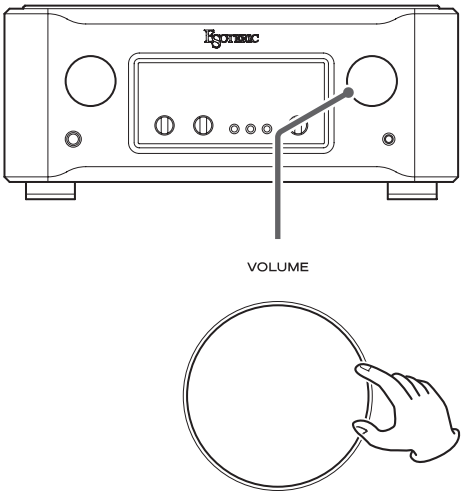
ボタンの周囲が青く点灯します。

- 本機をプリアンプとして使用するときは、パワーアンプの電源を最後にオンにしてください。

3 入力切換つまみ (INPUT) を回して入力ソースを選ぶ。



4 入力ソースを再生し、音量つまみ (VOLUME) を回して音量を調節する。



⚠ 突然大きな音が出ると、聴力障害などの原因になることがあります。音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。

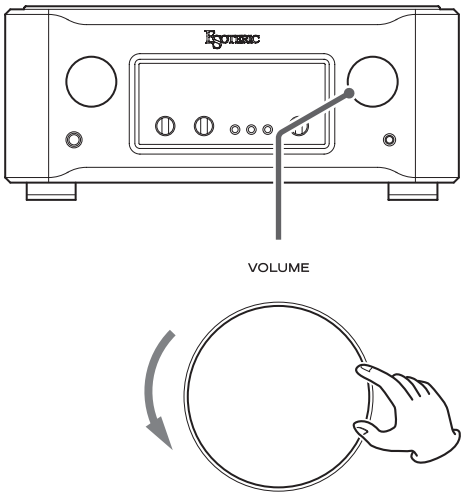
電源をオフにする

不用意に電源を切るとスピーカーからノイズが出ることがあります。本機の電源をオフにするときは、以下の手順に従ってください。

1 **接続した機器が再生中の場合は、再生を停止する。**

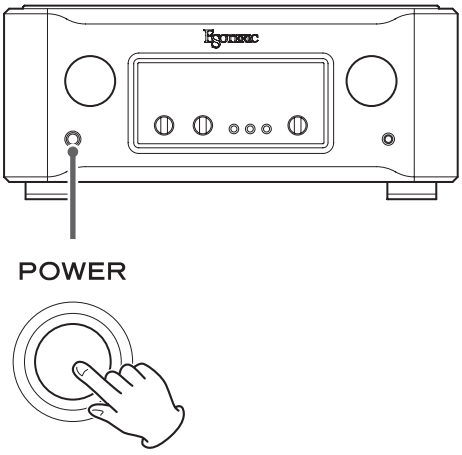
- 本機をプリアンプとして使用するときは、パワーアンプの電源を最初にオフにしてください。

2 **本機の音量つまみ (VOLUME) を回して、音量を最小にする。**



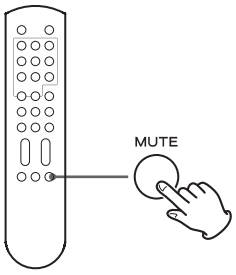
- 次に電源をオンにしたときに突然大きな音が出る場合があります。必ず、電源を切る前に音量を最小にしてください。

3 **本機の電源ボタン (POWER) を押して、オフにする。**



4 **本機に接続されているソース側の機器の電源をオフにする。**

ミュート (消音)

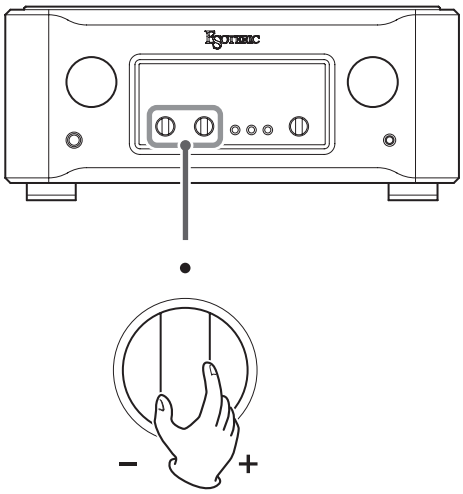


リモコンのミュートボタン (MUTE) を押すと、一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- ミュート時は、画面に「MUTE」が点滅表示します。
- ミュート中に音量ボタン (VOLUME ＋ / －) を押す、または音量つまみ (VOLUME) を回すとミュートは解除されます。

トーンコントロール

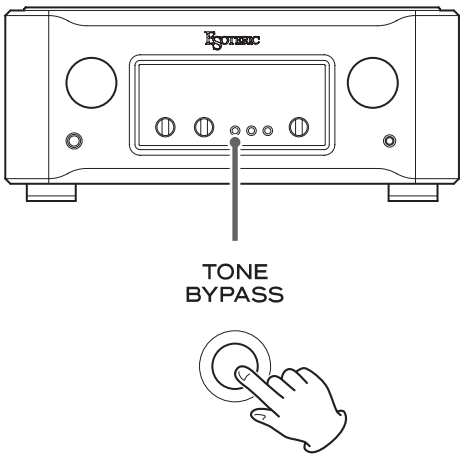
低音域 (BASS)、高音域 (TREBLE) の各音域のレベルを調節することができます。



中央の「●」が基準位置です。

- トーンバイパスがオンのときは、調節できません。
  トーンバイパスボタンを押して、ディスプレー上部に「TONE」を表示させてから調節してください。

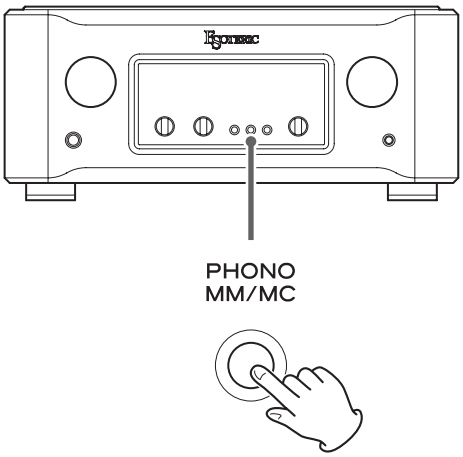
トーンバイパス



トーンバイパスがオンのとき、音声信号がトーン回路を通過せずに、増幅されます。
トーンバイパスがオフのときは、ディスプレー上部に「TONE」が表示されます。

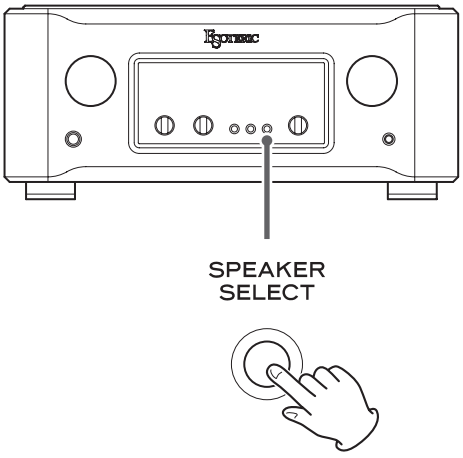
カートリッジタイプ設定

PHONO 端子にレコードプレーヤー接続したら、使用しているカートリッジのタイプを設定してください。



入力切換つまみ (INPUT) を回して、入力ソースを PHONO にしてからフォノ選択ボタン (PHONO MM/MC) を押して設定を変更してください。

スピーカーの選択

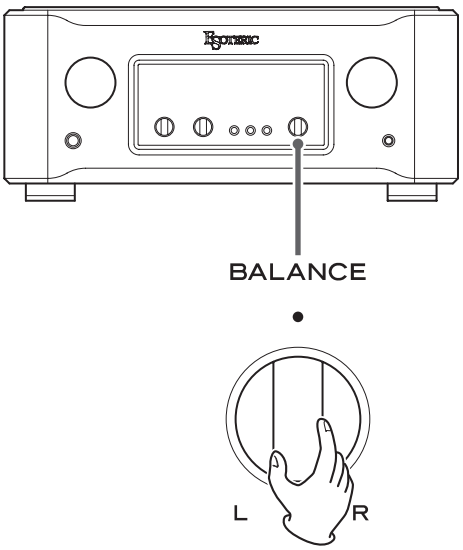


スピーカー選択ボタン (SPEAKER SELECT) を押すと以下のように出力するスピーカーが切り換わります。

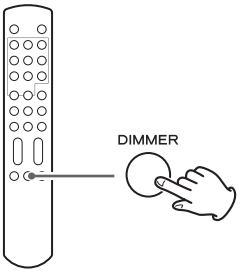
A
↓
B
↓
A+B

バランス調整

出力される音声の、左右のバランスを調整します。



ディマー



ディマーボタン (DIMMER) を押すたびに、ディスプレーとインジケーターの明るさが変わります。

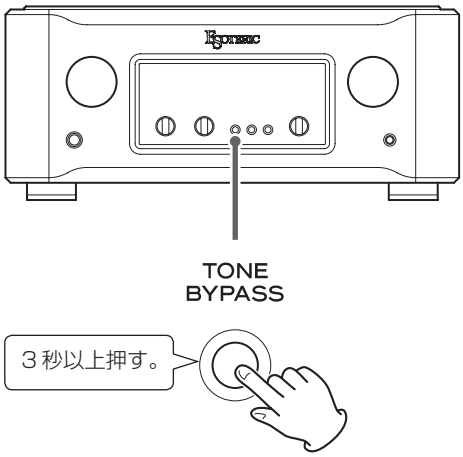
DIMMER3
↓
DIMMER2 (通常の明るさ)
↓
DIMMER1
↓
消灯

- 消灯中にいずれかのボタンを押したり、つまみをまわすと、数秒間だけディスプレーが通常の明るさで点灯します。ただし、トーンバイパスがオンのときにトーンコントロールつまみを回しても点灯しません。
- 設定モードのときは通常の明るさで点灯します。

設定

基本操作

1 トーンバイパスボタン (TONE BYPASS) を 3 秒以上押す。



ディスプレーに MENU1 アイコンが表示されます。

- リモコンで操作する場合は、セットアップボタン (SETUP) を押します。

設定 2 画面を表示させるには

設定 1 画面が表示されているときにトーンバイパスボタン (TONE BYPASS) を 3 秒以上押す。

- リモコンで操作する場合は、セットアップボタン (SETUP) を 3 秒以上押します。

設定 3 画面を表示させるには

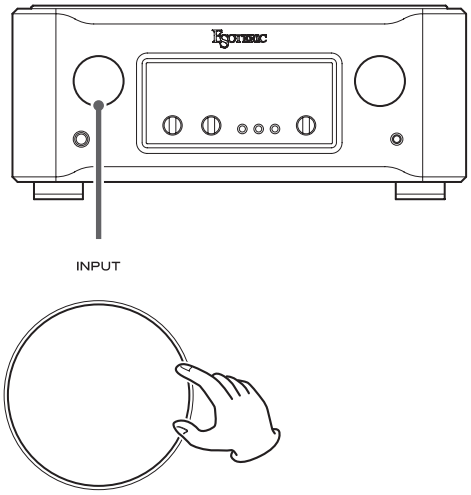
設定 2 で「goto MENU3」を表示させ、フォノ選択ボタン (PHONO MM/MC) を押す。

- リモコンで操作する場合は、設定ボタン (STANDBY/ON) を押します。

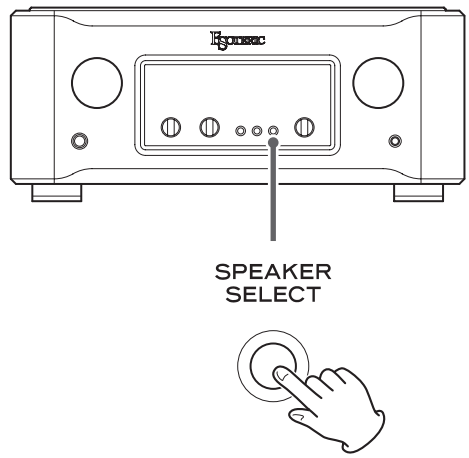
2 トーンバイパスボタン (TONE BYPASS) をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。

- リモコンで操作する場合は、セットアップボタン (SETUP) をくり返し押します。
- 設定中は、ディスプレーに MENU アイコンが表示されます。
- 10 秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

3 入力切換つまみ (INPUT) 回して設定を変更する。



4 スピーカー選択ボタン (SPEAKER SELECT) を押して設定を終了する。



または 10 秒以上放置すると、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても保持されます。

設定 1

設定 1 では、選択されている入力ソースの設定を行います。「出力レベル調整」、「位相切換え」、「入力ソース名」の設定が行えます。入力端子ごとに異なる設定ができます。

出力レベルの調整

Level ＞＊＊＊

選択されている入力端子の出力レベルを調整します。
－ 18.0(dB) ～ +18.0(dB) の範囲で 0.5dB 刻みで設定できます。
出荷時は 0.0(dB) に設定されています。

設定と音質について
Level(出力レベルの調整) は音量に関わる設定項目です。この設定とボリューム値は、総合的にマイコンで判断され、一ヵ所のボリュームコントロールアンプで一括制御されています。
そのため、音声信号がいくつかの回路を通過してしまう一般的なアンプと異なり、設定による音質劣化はありませんのでご安心ください。

位相切換え

PHASE ＞＊＊＊

選択されている入力端子の位相を切り換えます。
(2 番 HOT/3 番 HOT の切り換えに相当します。)
出荷時は NOR に設定されています。

NOR
　位相反転なし。
　XLR 入力端子の場合、2 番 HOT に相当します。

INV
　位相反転あり。
　XLR 入力端子の場合、3 番 HOT に相当します。

入力ソース名

XLR ＞＊＊＊

(入力ソースが XLR のときの表示)

入力切換つまみ (INPUT) を回したときにディスプレーに表示される端子名を、お好きな名前 (5 文字以内) にすることができます。

EDIT
　入力ソース名を変更します。

入力ソース名を入力するときは

1 **EDIT を表示させ、フォノ選択ボタン (PHONO MM/MC) を押す。**
　リモコンで操作する場合は、設定ボタン (STANDBY/ON) を押します。
2 **文字を入力する。**
　入力中の文字の下にカーソルが点滅表示されます。
　入力切換つまみ (INPUT) でカーソル位置を移動し、音量つまみ (VOLUME) で文字を選択します。
　リモコンで操作する場合は、入力切換ボタン (∧/∨) でカーソル位置を移動し、音量ボタン (VOLUME ＋ / －) 文字を選択します。
3 **入力が終わったらフォノ選択ボタン (PHONO MM/MC) を押して確定する。**

- 名前の入力中は、音量や入力を切り換えることができません。
- 使用できる文字
　アルファベット： A ～ Z、a ～ z
　数字： 0 ～ 9
　記号： ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / \ : ; ＜＝＞？@ (空白)

設定 2

設定 2 では、以下の設定が行えます。
- プリアウト出力
- 自動ディスプレー消灯
- オート・パワー・セーブ機能
- 音量表示
- 設定 3 表示

プリアウト出力

PREOUT ＞＊＊＊

本機のアナログ出力端子 (PRE OUT/REC OUT) の出力を設定します。

OFF
音声を出力しません。

PRE
プリアンプ出力を出力します。
音量は、音量つまみ (VOLUME) に連動して変化します。

REC
入力された信号がそのまま出力されます。

自動ディスプレー消灯

DPaOFF ＞＊＊＊

一定時間操作がなかったときに、自動的にディスプレーを消灯する設定を行います。出荷時は「ON」に設定されています。

ON
10 分間操作のない状態が続くと、ディスプレーを自動的に消灯します。

OFF
消灯はしませんが、DIMMER1 と同じ明るさにし、ディスプレーの消耗を防ぎます。

- ディスプレー表示器は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起こることがありますので、自動ディスプレー消灯設定を「ON」にすることをお勧めします。

オート・パワー・セーブ機能

APS ＞＊＊＊

- 出荷時は、「30m」に設定されています。

選択した入力ソースに音声入力の無い状態（無音状態）が設定時間続くと、電源を自動的にオフします。

- 選択されていない入力ソースへの音声入力の有無は、オート・パワー・セーブの動作に影響しません。

30m
30 分

60m
60 分

90m
90 分

120m
120 分

OFF
オート・パワー・セーブ機能を使用しません。

設定 2（続き）

音量表示

Vdp ＞＊＊＊

ディスプレーに表示する音量の文字の大きさと単位を設定します。

L_dB
大きな文字で、dB 単位の表示を行います。
－ 95.0 ～ +24.5dB までを 0.5dB ステップで調整します。

N_dB
通常の文字で、dB 単位の表示を行います。
－ 95.0 ～ +24.5dB までを 0.5dB ステップで調整します。

L_strp
大きな文字で、ステップ表示を行います。
0.5 ～ 120.0 までを 0.5 単位で調整します。

N_step
通常の文字で、ステップ表示を行います。
0.5 ～ 120.0 までを 0.5 単位で調整します。

設定 3 表示

goto MENU3

フォノ選択ボタン (PHONO MM/MC) を押すと設定 3 を表示します。
リモコンで操作する場合は、設定ボタン (STANDBY/ON) を押します。

設定 3

⚠ 設定 3 は、アンプ動作にかかわる設定項目で、誤った設定を行うとスピーカーを破壊する恐れのある設定項目です。

設定 3 では、以下の設定が行えます。
スルーアウト出力
動作モード

スルーアウト出力

THRU ＞＊＊＊

シグナルスルー端子として使う入力端子を設定することができます。
出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF
スルー入力を設定しません。

XLR
RCA1
RCA2
RCA3
RCA4
選択した入力端子の信号のみプリアンプを通らず、直接パワーアンプに入力します。

⚠ 通常のライン機器が接続されている入力を選択してしまうと、過大な信号がスピーカーに出力され、スピーカーを破損する恐れがあります。

ディスプレーには、音量つまみ (VOLUME) で設定した音量の代わりに「THRU」と表示されます。

例えば、AV アンプのプリアウト端子 (FRONT L/R など) を本機の RCA2 端子と接続し、RCA2 を THRU に設定すると、本機と接続したスピーカーを AV アンプのフロントスピーカーとしても共用することができます。(この場合、入力ソースに RCA2 を選択したときの音量調整は AV アンプで行います。)

- THRU に設定した入力端子の音量は音量つまみ (VOLUME) が機能しません。

⚠ THRU に設定した入力端子には、必ずボリュームコントロールできる機器を接続してください。接続した機器の音量を最小にしてから入力ソースを切り換えて、接続した機器の音量を徐々に上げてください。

設定の初期化

動作モード

AMP ＞＊＊＊

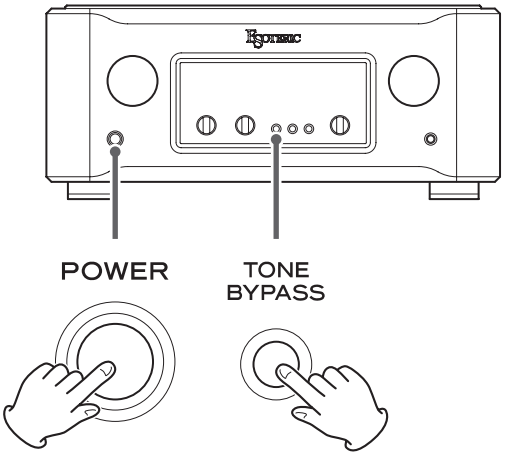
本機の動作モードを設定します。

NORMAL
本機のプリアンプ、パワーアンプを使用した通常動作を行います。

PREAMP
本機をプリアンプとして使用します。
アナログ出力端子 (PRE OUT/REC OUT) を外部のパワーアンプに接続し、本機のパワーアンプを使用しない場合に設定します。
設定 2 のプリアウト出力設定がどの設定になっていても、アナログ出力端子 (PRE OUT/REC OUT) からは本機のプリアンプの出力が出力されます。

PWRAMP
本機をパワーアンプとして使用します。
外部のプリアンプの出力をプリアンプ入力端子 (EXT. PRE IN) に接続し、ボリューム操作を外部で行う場合に使用します。入力された音声はパワーアンプに直接入力され、プリアンプ回路は通りません。

設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。
トーンバイパスボタン (TONE BYPASS) を押しながら、電源をオンにしてください。



困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (30 ページ) にご連絡ください。

電源が入らない

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

電源が自動的にオフになる

➡ オート・パワー・セーブ機能が働いて電源がオフになっています。
本体の電源ボタンを押して、電源をオンにしてください。必要に応じてオート・パワー・セーブ設定を変更してください。(23 ページ)

リモコンで操作できない

➡ 本体の電源をオンにしてください。(17 ページ)
➡ 電池が消耗していたら、2 本とも新しい電池に交換してください。(13 ページ)
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から 7 メートル以内の距離で、本体の方に向けて操作してください。(13 ページ)

テレビなどが誤動作する

➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

音量つまみ (VOLUME) が機能しない

➡ スルーアウト出力に設定した入力ソースは、音量つまみ (VOLUME) が機能しません。(24 ページ)

音量表示が点滅する

➡ ボリュームコントロールの上限を超えていますので、表示が点滅しなくなるまでボリュームを下げて使用してください。

エラーメッセージが表示される

➡ 保護回路が働いています。電源を切り、原因を取り除いてください。(11 ページ)
➡ スピーカーケーブルの+とーがショートしている可能性があります。スピーカーケーブルの接続を確認してください。(11 ページ)

ステレオの定位が不安定

➡ 接続ケーブルの+とーが逆になっているスピーカーがないか確認してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合はいったん電源を切り、約 1 分後に始めから操作してください。

仕様

スピーカー出力

定格出力 . . . . . 100W + 100W (8Ω)
170W + 170W (4Ω)
全高調波歪率 0.008%
(1kHz、8Ω、100W)
周波数特性 . . . . . 10Hz ～ 100kHz
(1W 出力時 +0/ − 3.0dB)
S/N 比 . . . . . 110dB (IHF-A)
ダンピングファクタ 370
適合最小インピーダンス 4Ω
スピーカー出力端子 . . . . . 2 系統 (L/R)
(スクリュータイプ)

入力

XLR 端子 . . . . . 1 系統 (L/R)
RCA 端子 . . . . . 4 系統 (L/R)
PHONO 端子 . . . . . 1 系統 (L/R)
(MM/MC 切り換え)
EXT. PRE IN 端子 . . . . . 1 系統 (L/R)
入力インピーダンス
XLR、RCA 10kΩ
PHONO (MM) 47kΩ
PHONO (MC) 100Ω
EXT. PRE IN 47kΩ

出力

RCA 端子 . . . . . 1 系統 (L/R)
(PRE OUT・REC OUT 兼用)
PHONES 端子 . . . . . 1 系統
出力インピーダンス
RCA 100Ω
PRE OUT S/N 比 (1V 出力時)
XLR、RCA 入力 109dB
PHONO (MM) 入力 93dB
PHONO (MC) 入力 75dB
ゲイン
プリアンプ部 24.5dB
(VOLUME 最大時)
パワーアンプ部 29dB
トーンコントロール
BASS . . . . . ±12dB (63Hz)
TREBLE . . . . . ±12dB (14kHz)

一般

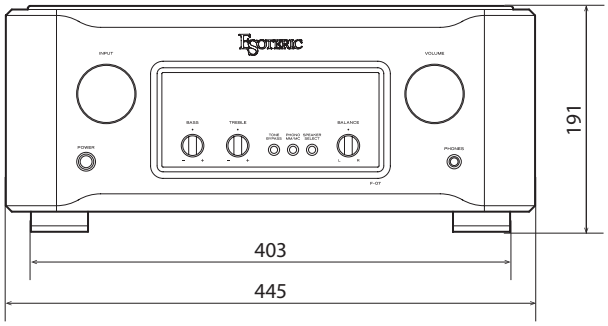
電源 . . . . . AC 100V, 50-60Hz
消費電力 . . . . . 215W (電気用品安全法)
42W (無信号時)
外形寸法 . . . . . 445mm×191mm×468mm
(W×H×D、突起部を含む)
質量 27.2kg
許容動作温度 . . . . . + 5℃～+ 35℃

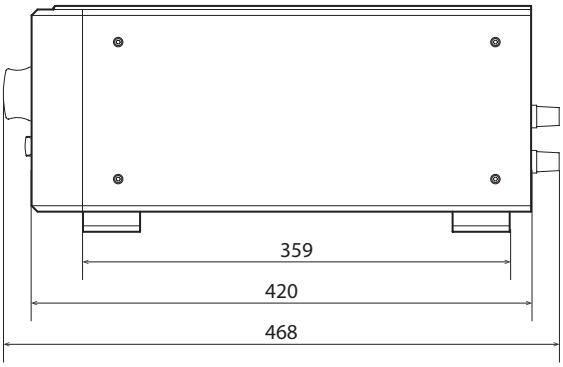
付属品

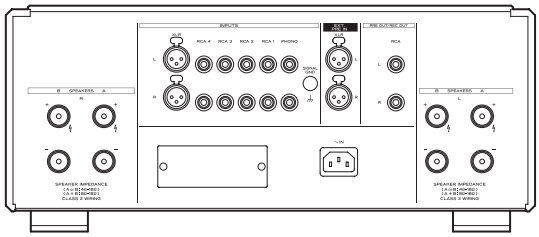
電源コード ×1
リモコン (RC-1301)×1
リモコン用乾電池 (単 4)×2 本
フェルト ×4 枚
取扱説明書 (本書)×1
ご愛用者カード ×1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

寸法図







単位：mm

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく 1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から 5 年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合（6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等）は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (30 ページに記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

26 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (30 ページに記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：インテグレーテッドアンプ F-07

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

エソテリック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47　　http://www.esoteric.jp/

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室　〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～12:00/13:00～17:00です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

- ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田 858

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

- ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ESOTERIC

エソテリック株式会社

0716 MA-2277A